

# 平成21年度 西宮地区 コミッショナー教育活動方針

スカウト教育法を正しく理解し、

班制教育・進歩制度・野外活動」を活用し、

質の高い本物の Scoutingを展開しよう！

## “本物の Scouting ”

あちこちで耳にする言葉です。どのような Scouting が本物なのでしょう？

Scouting とは創始者ベーデンパウエルが考案した少年のための独特な教育運動です。

「野外を教場」とし、「班制度」と「進歩制度」の2大制度のもと、「人格」、「健康」、「技能」、「奉仕」の4本柱を育みます。それらは「7つのスカウト教育法」をもって展開されます。

ちかいとおきて 行うことによって学ぶ 小グループでの活動

自然の中での活動 シンボルの活用 個人の成長 成人の支援

これら様々な言葉で Scouting が表現されますが、決して Scouting は難解なものではありません。少しの仕組みとコツさえつかめばスカウト達は自らの力で Scouting を展開し始めます。これこそが“本物の Scouting ”です。

指導者は少し仕組み整え、ちょっとしたコツとその機会をスカウトに提供するだけです。

## 3班(組)以上で年間 3回以上ハイキングに行こう！

B-Pの提唱する「**班制教育**」と「**野外活動**」の**実践**です。

これこそがB-Pが考案した Scouting の本質であり、楽しく、魅力ある“本物の Scouting ”そのものです。多少やっかいな事があるかもしれませんが、今こそ指導者が勇気を持って困難に立ち向かい、スカウト達に“本物の Scouting ”を提供しようではありませんか。

さあ、動きましょう！ 失敗を恐れずに！ **Activity First**

スカウトの班はスカウティングのための方便ではない。班制、即スカウティングなのだ。

このことを指導者はよく知ってほしい。

だから班制が形だけにとどまっているとしたら、そのスカウティングには根は生えぬ。従って成長はしない。

もし、私の診断どおりであるとするならば

「あなたは、スカウティングでないものを、スカウティングだと思ってやっている。」

と忠告してあげるほかはない。

(ちーやん夜話集より 昭和32年)

